

福祉推進委員だより！

防災講座開催～！



1月30日(金)に福祉推進委員研修会を開催しました。

今回は、防災講座として講師に大垣市在住の防災士 西田重成さんをお招きし「避難所運営ゲーム(HUG)」を実施しました。

始めに、イメージ作りとして西田さんからご自身の経験談を踏まえての震災関連の話をお聞きし震災の被害の甚大さを知ると共に、今後想定される地震について日頃から気を付けることを学びました。

HUGの実践では、4グループ(26名参加)に分かれ避難所の平面図(体育館や教室)に、避難者に見立てたカードの内容に従い、災害時要援護者への配慮をしながら部屋割りを考えたり、仮設トイレの配置、炊き出し場、取材対応など実際に想定される出来事に対して思いのままに意見を出し合い、話し合いをしながら、次々にカードを体育館や教室の図面に配置しゲーム感覚で避難所の運営について理解を深めました。



↑どこにカードを配置しようかな？



↑避難者受け入れ完了？！

西田先生のテンポと歯切れの良い語りは、「楽しいし、分かり易かった」と好評でしたし、参加者は、避難所の運営の難しさについて実感してもらえたと思います。「ドキドキした！」「緊張した！」といった声や、「ああすれば良かった」、「次回機会があればこうしたい」との声もありました。今回、架空の平面図を使用しましたが、地域の平面図を用いて行うとリアリティが増して効果的という意見もあり有意義な研修となりました。

今後も定期的開催していきたいと思えます。

避難所運営ゲーム(HUG)とは？

H(hinanzyo避難所)、U(unei運営)、G(gameゲーム)の頭文字を取ったもので、英語で「抱きしめる」という意味になり、避難者を優しく受け入れる避難所のイメージと重ね合わせて名付けられました。



実際に避難所の運営をしなければいけない立場になったとき、殺到する地域の人々や出来事にどう対応すれば良いかをカードを使って避難所の運営を模擬体験するゲームです。避難者に見立てたカードをスピーディーに配置していくことで、実践的な雰囲気を感じられる教材です。